

研 究 紀 要

第 5 7 号

「持続可能な社会の形成者として必要な能力や資質の育成」
—教科間のつながりを目指したカリキュラム開発を通して—

平成 2 7 年

金沢大学附属中学校

はじめに

金沢大学附属中学校

校長 鷺山 靖

本校は今年度、国立教育政策研究所の2年間の研究指定を受けて、E S D (Education for Sustainable Development : 持続可能な開発のための教育) の考え方を取り入れながら、「持続可能な社会の形成者として必要な能力や資質の育成～教科間のつながりを目指したカリキュラム開発を通して～」を研究テーマに掲げ、研究を進めています。一方、本校は「自由闊達な気風の中で、広い視野と豊かな人間性を持ち、将来、社会的使命を果たす生徒を育成する。」を教育目標に掲げています。環境、エネルギー、食糧、紛争、人権、貧困、医療・介護、文化の保護といった問題と向き合い行動することがまさに社会的使命であり、問題を起こしている私たち人類の課題であります。私たちは、何のために何を生徒に教育しているのか。私どもはE S Dの考え、考え方に同感し、今年度は教材のつながり、教科のつながりに重点をおいた研究実践をおこないました。教材のつながり、教科のつながり、つまり、私どもは本校のカリキュラム全体にE S Dの考えを取り入れた新たなカリキュラムの開発を通して、E S Dと各教科等の思考力・判断力・表現力との関連性を明らかにします。

本研究紀要は、昨年11月22日開催の平成26年度第62回教育研究発表会にて、諸先生よりいただいたご意見や情報交換をもとに、再検討、再実践した取り組みの成果・課題をまとめ、関係各位の皆様へ報告するものです。来年度は教材のつながりに加え、能力・態度のつながりを意図した研究へ進展させます。どうぞ皆さまには忌憚のないご批判ご意見、ご示唆をお願いいたします。

最後になりましたが、研究推進にあたり、ご支援ご指導いただきました文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センターの濱野清先生をはじめ、金沢大学人間社会学域学校教育学類・附属学校園研究推進委員会小委員会の諸先生方に厚く御礼申し上げますとともに、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年3月2日

目 次

1. はじめに

2. 「持続可能な社会の形成者として必要な能力や資質の育成」

～教科間のつながりを目指したカリキュラム開発を通して～

平成26年度の研究・実践の概要（研究部）……………1～16

3. 教科等

(1) 国 語 科	……………	17～34
(2) 社 会 科	……………	35～51
(3) 数 学 科	……………	52～64
(4) 理 科	……………	65～83
(5) 音 楽 科	……………	84～91
(6) 美 術 科	……………	92～101
(7) 保健体育科	……………	102～108
(8) 技術・家庭科	……………	109～116
(9) 英 語 科	……………	117～132
(10) 学校保健	……………	133～138